

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公開番号】特開2006-76296(P2006-76296A)

【公開日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-012

【出願番号】特願2005-249287(P2005-249287)

【国際特許分類】

B 4 1 J 15/16 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 15/16

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月20日(2008.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷ゾーンと、

該印刷ゾーンで被印刷物に印刷するためのインクジェット印刷ヘッドと、

印刷のために、前記被印刷物を貯蔵し、且つ、供給するための供給ユニットと、

前記被印刷物を前記供給ユニットから前記印刷ゾーンに移送するための移送ユニットと
を含み、

前記供給ユニットは、多数の被印刷物ホルダを含み、

各被印刷物ホルダは、前記被印刷物のウェブが巻回されるロールを保持し、且つ、前記被印刷物ホルダにおける前記ウェブの端部を検知するための対応するセンサに操作的に接続され、

前記移送ユニットは、前記供給ユニットから現れる前記被印刷物を係合し且つ移送するための第一移送手段と、前記被印刷物をさらに移送し且つ前記印刷ゾーン内において前記被印刷物を位置決めするための下流の第二移送手段とを有する、

インクジェットプリンタであって、

前記センサが前記被印刷物の前記端部を検知した後、依然として印刷されるべきどの映像が、前記ウェブの前記端部が前記下流方向において前記第一移送手段を通ることなしに、前記被印刷物上に完全に映像され得るかを決定する制御ユニットを有することを特徴とする、

インクジェットプリンタ。

【請求項 2】

前記供給ユニットは、前記被印刷物のための移送経路を有し、前記被印刷物ホルダは下流方向に前記移送経路に沿って配置されることを特徴とする、請求項 1 に記載のインクジェットプリンタ。

【請求項 3】

前記第一移送手段及び前記第二移送手段は駆動可能であり、もし前記被印刷物が前記第一移送手段及び前記第二移送手段の双方によって係合されるならば、前記第二移送手段の駆動速度は、前記第一移送手段の駆動速度より高いか、或いは、同一であることを特徴と

する、上記請求項のうちいずれか 1 項に記載のインクジェットプリンタ。

【請求項 4】

前記移送ユニットは、前記被印刷物を前記第一移送手段から前記第二移送手段に案内するためのガイド素子を備えることを特徴とする、上記請求項のうちいずれか 1 項に記載のインクジェットプリンタ。

【請求項 5】

前記ガイド素子が第一位置から第二位置に移動可能であることによって、前記ガイド素子が前記第一位置にあるときに、前記被印刷物が前記第一移送手段から前記第二移送手段に亘って延びる距離がより大きいことを特徴とする、請求項 4 に記載のインクジェットプリンタ

【請求項 6】

各被印刷物ホルダは専用のセンサを備えることを特徴とする、上記請求項のうちいずれか 1 項に記載のインクジェットプリンタ。